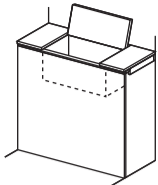


# トイレカウンターユニット < Aタイプ > TMK - 0917A



## 【施工説明書】

作業開始前に、この施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。  
Bタイプ(サイド収納キャビネット付)の場合は、裏面をご覧ください。

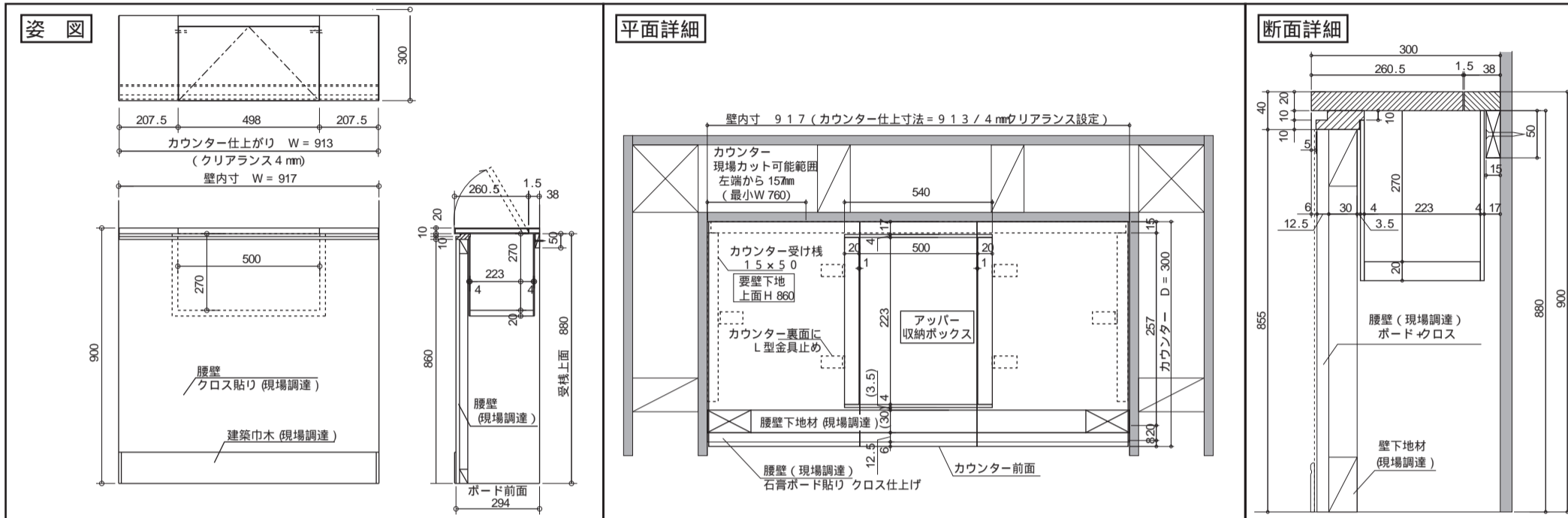
## 施工時の注意事項

開梱後、施工前に部材・部品に損傷等がないかどうかご確認ください。組立作業後の損傷については、責任を負いかねます。  
付属の部品以外の部品を使用して組み立てないで下さい。  
作業はかならず手回しのドライバーで行ってください。組立金具等の破損の原因となりますので、電動ドライバーは使用しないで下さい。

**!** この絵表示はかならず実行していただく「強制内容」を示します

**!** 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをされた場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または、物的損害のみの発生が想定される内容を示します

## 製品寸法図



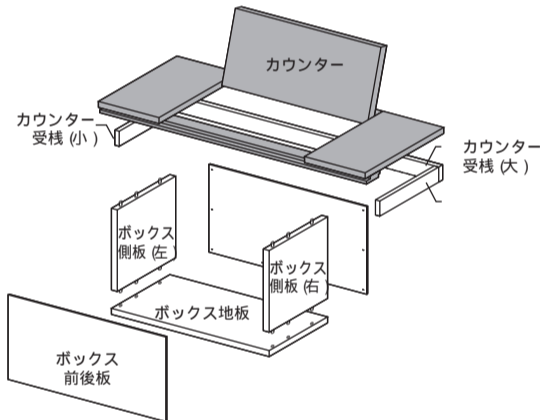
## 部材・部品の確認

### 部品・部材の構成内容と部材名

部材・部品の数及び不良の有無をかならずご確認ください。

**!** 組立後の部品交換はお受けできない場合がございます  
 確認する

部材表		梱包数	1		
番号	部材名	入数	番号	部材名	入数
	カウンター	1		ボックス側板 (左)	1
	受桟 (大)	1		ボックス地板	1
	受桟 (小)	2		ボックス前後板	2
	ボックス側板 (右)	1		袋詰金物 (カウンター)	1



### 袋詰金物入数表

部品	L型金具	L型金具 固定ねじ	カウンター受桟固定ねじ	ボックス組立クギ	ボンド
姿図					
入数	6	24	10	21	1

## 施工手順

### 1.カウンター受桟の取付

カウンター受桟を壁面に固定します  
 カウンター受桟固定ねじ

受桟 (小) 受桟 (大) 受桟 (小)

上面高さ = 880

**!** 注意 受桟固定位置には壁下地が必要です

**【間口寸法対応】**  
 カウンター端部を現場でカットすることができます。  
 カット可能範囲 端から 15mm  
 Bタイプ(サイドキャビネット付)は左側のみカット可能です

### 2.収納ボックスの組立

内側が化粧面です  
 ボックス側板と地板を組み立てます

**!** 注意 組立にはかならずボンドを使用してください

カウンターとボックス側板を接合します

前後板をクギで固定し、L型金具でカウンターとボックスを補強固定します

ボックス組立クギ L型金具取付 (4ヶ所)

カウンター内部から前板とカウンターをクギで補強固定します。

### 3.カウンターの固定

カウンターを受桟に接着剤・クギ等で固定した後、L型金具で受桟に補強固定します。

L型金具取付 (2ヶ所)

### 4.腰壁の施工 (現場調達)

カウンター下前面に腰壁を施工し、クロスを貼り、仕上げます。  
 腰壁の材料は現場調達です

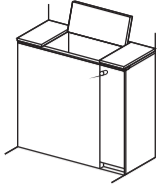
お問い合わせはこちらへどうぞ

セフィットコールセンター ☎ 0120 - 348 - 225 9:00~17:00 受付 仕・日 祭 休 <http://www.ce-fit.com> 商品に関するご相談の受付 最新の商品情報発信を行っています

〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目13番26号

# トイレカウンターユニット < Bタイプ >

CeFit TMK - 0917B



## 【施工説明書】

作業開始前に、この施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。  
Aタイプ(サイド収納キャビネットなし)の場合は、裏面をご覧ください。

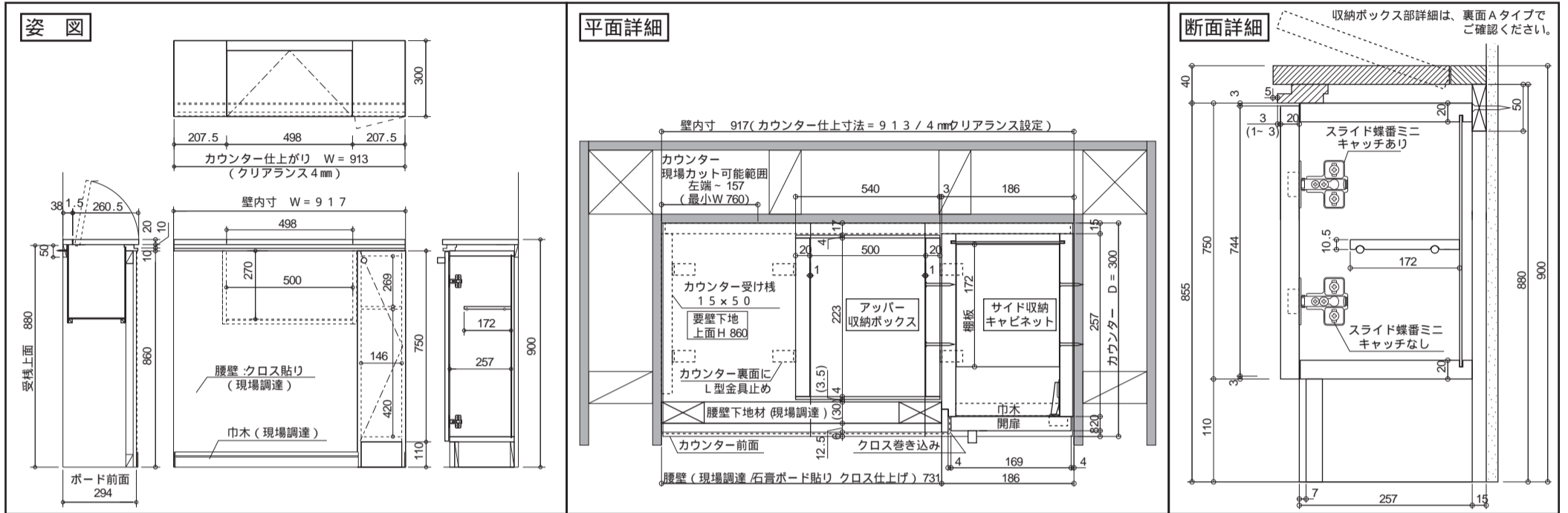
## 施工時の注意事項

開梱後、施工前に部材・部品に損傷等がないかどうかご確認ください。組立作業後の損傷については、責任を負いかねます。  
付属の部品以外の部品を使用して組み立てないで下さい。  
作業はかならず手回しのドライバーで行ってください。組立金具等の破損の原因となりますので、電動ドライバーは使用しないで下さい。

**!** この絵表示はかならず実行していただく「強制内容」を示します

**!** 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをされた場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または、物的損害のみの発生が想定される内容を示します

## 製品寸法図



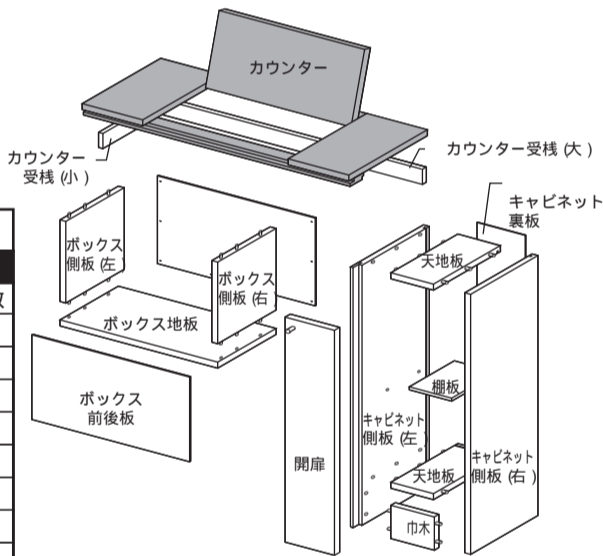
## 部材・部品の確認

### 部品・部材の構成内容と部材名

部材・部品の数及び不良の有無をかならずご確認ください。

**!** 組立後の部品交換はお受けできない場合がございます  
確認する

部材表		受棧(小)は体不用品になります		梱包数	2
カウンターセット			キャビネットセット		
番号	部材名	入数	番号	部材名	入数
	カウンター	1		キャビネット側板(右)	1
	受棧(大)	1		キャビネット側板(左)	1
	受棧(小)	2		キャビネット天地板	2
	ボックス側板(右)	1		キャビネット棚板	1
	ボックス側板(左)	1		キャビネット裏板	1
	ボックス地板	1		キャビネット巾木	1
	ボックス前後板	2		キャビネット扉	1
	袋詰金物(カウンター)	1		袋詰金物(キャビネット)	1



### カウンター同梱袋詰金物入数表

部品	L型金具	L型金具 固定ねじ	カウンター 受棧固定ねじ	ボックス 組立クギ	ボンド
姿図					
入数	6	24	10	21	1

### キャビネット同梱袋詰金物入数表

部品	スライドピンキャッチ付(座金取付ねじ2本同梱)	スライドピンキャッチなし(座金取付ねじ2本同梱)	扉取付ねじ	戸当たり
姿図				
入数	1	1	4	2

部品	取手(ねじ付)	キャビネット 固定ねじ	ボックス 接合ねじ	棚ダボ	裏板固定クギ	ボンド
姿図						
入数	1	10	10	4	10	1

## 施工手順

### 1.カウンター受棧の取付

カウンター受棧を壁面に固定します

受棧(小)は2本入っていますが、Bタイプでは1本だけ使用します。

**!** 注意 受棧固定位置には壁下地が必要です

**!** 【間口寸法対応】  
カウンター端部を現場でカットすることができます。  
カット可能範囲 端から15mm  
Bタイプ(サイドキャビネット付)は左側のみカット可能です

### 2.キャビネットの組立と取付

キャビネットを組み立てます

あらかじめ側板(右)にスライドピンキャッチを取り付けてから組み立てます(取付位置上下に注意)

**!** 注意 組立にはかならずボンドを使用してください

裏板をクギで固定します

裏板がたわまないようキャビネット裏側から側板に向かって斜めにクギを打ち込みます

扉を取り付けキャビネットを右端に設置し、キャビネットの内側から壁面に向かってキャビネット固定ねじで固定します

### 3.収納ボックスの組立

ボックス側板と地板を組み立てます

**!** 注意 組立にはかならずボンドを使用してください

カウンターとボックス側板を接合します

前後板をクギで固定し、L型金具でカウンターとボックスを補強固定します

カウンター内部から前板とカウンターをクギで補強固定します。

### 4.カウンターの固定と腰壁の施工

カウンターを受棧に接着剤・クギ等で固定した後、L型金具で受棧に補強固定します。

また、ボックス内部からキャビネット側にボックス接合ねじで固定してください。

カウンター下前面に腰壁を施工し、クロスを貼り、仕上げます。  
腰壁の材料は現場調達です

お問い合わせはこちらへ

セフィットコールセンター ☎ 0120-348-225 9:00~17:00 受付(日・祭・休) <http://www.ce-fit.com> 商品に関するご相談の受付 最新の商品情報発信を行っています  
〒550-0015 大阪市西区南堀江2丁目13番26号